

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会  
第83回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時 : 2025 年 1月 16 日 (木) 9:30 ~ 11:55

2. 場 所 : JANSI 13階第1会議室 + WebexによるWeb会議

3. 出席者 (順不同、敬称略) (\*: Web出席)

委員) 中野 (信)、莊田、宮永\*、大橋\*、梅原、中浜\*、中野 (佑)、梅木\*、山本\*、長嶺\*

以上 10名

常時参加者) 小松\*、西村\*、山崎\*、前田<sup>記</sup> 以上 4名

オブザーバ) 一丸\* 以上 1名

4. 配布資料

P11PWG-83-0 議事次第

P11PWG-83-1 第82回PWR水化学管理指針作業会議事録 (案)

P11PWG-83-X-1 システム安全専門部会中間報告意見募集結果

P11PWG-83-X-2 コメント対応一覧表

P11PWG-83-X-3 PWR一次系水化学管理指針改定案

P11PWG-83-X-4-1 新旧比較表\_本文

P11PWG-83-X-4-2 新旧比較表\_附属書D

P11PWG-83-X-4-3 新旧比較表\_附属書E

P11PWG-83-X-4-4 新旧比較表\_附属書F

P11PWG-83-X-4-5 新旧比較表\_解説

P11PWG-83-X 二次系水化学管理指針 改定の趣意書

P11PWG-83-X 二次系水化学管理指針改定整理表 (案) 第66回分科会コメント対応案

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

宮永幹事より出席者の確認があった。委員10名全員の出席を確認し、定足数を満足していることから、本作業会は成立することが確認された。また、オブザーバとして、一丸氏 (九州電力) の1名の出席が承認された。

(2) 前回議事録確認

中野主査より、資料「P11PWG83-1 第82回PWR水化学管理指針作業会議事録(案)」について確認があった。作業会終了までに出席者からのコメント・修正は無く、正式版として承認さ

れた。

### (3) 一次系水化学管理指針の改定検討状況

中野主査より、資料 P11PWG-83-X-1「システム安全専門部会中間報告意見募集結果」に基づき、システム安全専門部会中間報告に対し、複数の委員から意見が寄せられたことが報告された。その後、前田常時参加者より、資料 P11PWG-83-X-2「コメント対応一覧表」に基づき、寄せられた意見に対する回答方針について説明があった。出席者からの主な意見は以下の通り。

- ・ 専門部会 中川委員からの意見「解説15.4 接液部と非接液部」について、副資材由来の不純物持込みは液相側からの影響が大きい点を示す文案に見直すほうが読み手に取って分かりやすいとのコメントがあり、修正を検討することとした。
- ・ 専門部会 鈴木委員の意見「附属書D 表D.2 ほう素同位体比」について、「AESJ-SC-S014:2023 加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 — ほう素同位体比：2023」の解説のうち、制定の趣旨の記載と異なるようにも読み取れる場合も想定されるため、再度、分析標準との整合性を確認し、修正を検討することとした。
- ・ 専門部会 鈴木委員の意見「附属書E 表E.18 使用済燃料ピット水の制御水野考え方」について、系統構成の関係を考慮した文案は、電力事業者にとって違和感があり、シンプルに「安全上要求される・・・」と見直すこととした。
- ・ 専門部会 鈴木委員の意見「附属書F 表F.2 ほう素の測定頻度」について、初版の誤記を修正することが主目的であることを明確に回答するとともに、根拠は設定の考え方の記載内容を再度説明することを確認した。
- ・ 専門部会 鈴木委員の意見「解説15.2 および15.3の表現」について、各項目とも解説に記載する方針を再度確認したが、ご指摘の通り推奨事項と読み取れる文章も見受けられるため、全体の記載を再度見直すこととした。

上記コメントを早急に反映し、1/20分科会に向けてメール審議することで合意した。

### (4) 二次系水化学管理指針の改定検討状況

山崎常時参加者より、資料P11PWG-83-X「二次系水化学管理指針 改定の趣意書」について、  
庄田副主査より、資料 P11PWG-82-4「二次系水化学管理指針改定部分整理表案」についてそれぞれ説明があった。主なコメントは以下の通り。

- ・ 趣意書のうち、要協議とした3項「目的」について、PWR一次系水化学管理指針の改定着手時の趣意書の記載を参考に見直すこととした。

- ・ 改訂項目整理表のうち、電共研成果の公開については、他標準でも公知化した事例があることが共有された。

上記コメントを早急に反映し、1/20分科会に向けてメール審議することで合意した。

(5) その他

- ・ 次回の作業会の開催日程は、1/20分科会後に調整することで合意した。

以 上